

温泉利用許可年月日 及び指令番号	年 月 日 長野県指令 第 号
---------------------	-----------------

認定番号	
認定年月日	更新年月日
有効期限	有効期限

申請者の名称	法人の場合は、名称及び代表者の氏名を記載
申請者の住所	法人の場合は、主たる事務所の所在地を記載
温泉地名	温泉地名を記載(ない場合は空欄で可)
温泉利用施設の名称	通称ではなく、正式名称を正確に記載すること
温泉利用施設の住所	申請施設の住所及び電話番号を記載 TEL:

源泉の 状況	源泉名	
	(7) 源泉名	源泉名を記載。混合泉の場合は、混合している各源泉名と混合泉である旨を記載。
	(4) 自家源泉か共有源泉かの別	自家源泉か共有源泉かを記載。自家源泉であるが他へ分湯している場合は、その旨を記載
	温泉の湧出地	
	(7) 湧出地住所	源泉の湧出地を記載。混合泉の場合は、各源泉の湧出地及び混合している住所を記載
(4) 湧出地から利用施設までの引湯距離	源泉から利用施設までの距離を記載。混合している場合は、各源泉からの距離を記載。	
	湧出量 (L/分)	源泉の湧出量を記載。混合泉の場合は、各源泉の湧出量を記載
	湧出形態	自然湧出、掘削自噴(掘削深度 m)、動力揚湯(掘削深度 m)の別を記載

浴槽の 温泉の 状況	浴槽の種類とその状況	
	(7) 各浴室ごとに浴槽の数及び浴槽ごとの容量	浴室ごとに浴槽の数及び浴槽ごとの容量を記載すること 例) の湯(男湯)、 の湯(女湯) 大浴槽 m3(L)、小浴槽 m3(L)、イベント湯 m3(L)各1槽づつ の湯(男湯) 大浴槽 m3(L)、小浴槽 m3(L) x x の湯(女湯) 大浴槽 m3(L)、小浴槽 m3(L)
	(4) 温泉以外の浴槽の有無及びその状況	温泉以外の浴槽が特定できるように明示するとともに、温泉以外の何を使用しているのか記載 例) イベント湯(男女各1槽) 水道水を使用
	(9) 浴用剤の使用の有無及びその状況	浴用剤を使用している浴槽が特定できるように明示するとともに、使用している浴用剤の種類及び分量、更に浴用剤を使用している理由も記載 例) イベント湯(男女各1槽) 商品名、毎日1回程度各浴槽に直接投入、費りを減らし、でもらうため使用
	引湯の状況	
	(7) 源泉や共同貯湯施設から引湯	源泉から引湯か共同貯湯施設から引湯かなどを記載
	a 引湯方法	源泉から利用施設までの経路を記入(源泉から施設敷地内の貯湯槽を経て各浴槽へ給湯など)
	b 引湯量	1分当たりの引湯量及び1日当たりの引湯量及び引湯時間を記載 45.0L/分 (40,500L/日) 1日15時間引湯
	(4) タンクローリーやポリタンクで温泉を搬送	引湯方法(タンクローリーかポリタンクかなど)を記載
	a 搬送量	1回当たりの搬送量を記載 t/回
	b 搬送頻度	搬送頻度を記載 回/週
	加温・加水の状況	
	(7) 加温の有無及びその状況	源泉の温度 源泉の温度を記載
	a 加温の有無	加温の有無を記載。浴槽ごとに異なる場合は、加温している浴槽を記載
	b 加温の状況	常時加温か季節的加温か(月～月まで)を記載
c 加温の理由	加温の理由を記載(源泉の泉温が と低いため加温など)	
(4) 加水の有無及びその状況		
a 加水の有無	加水の有無を記載。浴槽ごとに異なる場合は、加水している浴槽を記載	
b 源泉率	源泉率 %かを記載	
c 加水しているものの種類	井戸水、河川水、水道水などを記載	
d 加水の理由	冷却のための加水(湯温調節)、増量のための加水(湯量調節)、希釈のための加水など加水の理由を記載	
循環、かけ流しの状況及び循環の場合はその理由		
「浴槽内循環」、「浴槽から溢れたもの循環」、「かけ流し」及び「循環・かけ流し併用式」の別を記載 毎日使用温が毎日完全換水温かのもも記載 「循環」の場合はその理由を記載 浴室・浴槽ごとに異なる場合は、その旨わかるように記載 必要に応じて理由を記載		

浴槽の 衛生管理の 状況	換水の状況	
	(7) 換水の頻度	換水の頻度(毎日、日に一度など)を記載
	(4) 換水の程度	完全換水か一部(割程度)換水かなどを記載
	毎日完全換水ではない理由などを記載。(連日使用型循環ろ過装置の使用や湯量不足など)	
	浴槽の清掃の状況	
	(7) 浴槽の清掃の頻度	清掃の頻度(毎日、日に一度など)を記載
	清掃方法を具体的に記載 完全換水時の清掃方法及び完全換水時以外の清掃方法等を具体的に記載	
	殺菌処理の実施の有無及びその状況	
	(7) 殺菌処理の有無	殺菌処理の有無を記載
	(4) 殺菌処理の方法	塩素殺菌、オゾン殺菌、紫外線殺菌などの方法及び頻度を記載
	(9) 殺菌処理の方法	殺菌処理の理由を記載(衛生管理のためなど)
	常時、塩素消毒をしていない理由、殺菌処理をしていない理由などを記載	
	レジオネラ属菌の検査状況	
	(7) 検査頻度	年間の検査回数を記載 回/年
	(4) 検査結果表(分析結果)の掲示	結果表の掲示場所を記載(直近の検査結果表を掲示すること)
検査回数、公衆浴場等における衛生等管理要領上どうかを記載(必要に応じて理由を付記)、…(毎日完全換水及び清掃をし、常時塩素消毒をしているため、公衆浴場等における衛生等管理要領に基づき、年1回検査を行います。など)		
温泉の成分分析の状況		
(7) 温泉分析に係る温泉の採取場所	分析した温泉の採取場所を記載	
(4) 温泉分析書の分析時期	分析年月日を記載(新規の場合は10年以内、更新の場合は5年以内であること)	
(9) 温泉分析書の掲示	温泉分析書の掲示場所を記載	
認定後1年以内に、循環・かけ流し、加温・加水等の異なる形態ごとの代表的な浴槽の湯口を分析する旨を記載		
表示責任者	当該施設の責任者の職・氏名を記載	